

「得徳えとく 社会を正道へ導く」

神 示

神の「教え」を 心しんの支えに生きる人じんは皆

「運命」に重なる人生を歩み抜ける

開運人生を手にする人じんの心こころが ここにある

なれど 知識と努力を絶大と信じて生きる人じんが多い

社会は乱れ 人ひとの心は荒れ 夢が持てずに悩む

信者に申す

社会しんがいの今の姿を 「教え」に生きて 見詰め直す

人ひとの心の姿が見えて 「実体」を正す決意が深まる

「教え」に気付きを得るほど

人間は あるべき「道みち」が見えて

「実体」を自ら修正する

「得徳えとくの真理」に生きて

人間は皆 神の手の中

「運命」に重なる人生を手にできる

「教え」が信者の人生を高くする

「教え」が信者の心を神にする

品性しんせいは 人柄 人格となって

多くの人ひとの人生を 神へとつなぐ「徳」となる

人間は 誕生に合わせ

社会を「正道」へと導く力ちからを与えられている

その存在を生かす「悟り」が

徳とくとなって 「人生」を彩る

何を心の支えに生きるかで、人の一生は大きく違ってきます。唯物的な考えで生きれば、物や形にばかりこだわらる人生となるでしょう。この世の仕組み、物事の道理を踏まえ、目には見えない心を大事にする生き方が大切です。

誰もが、神から世に役立つ運命を授けられています。ですから、神の教えを生きる支えにすれば、必ず運命に重なる人生が歩み抜けます。持って生まれた力を生かしきり、開運が果たせるのです。

多くの人々は、知識と努力で人生の成功者になれると思込んでいます。しかし、さまざまな問題を抱え、心を乱し、希望さえ失っているのが現実です。

世の中の今の動きを、教えに重ねて見詰めることを、神は促されています。教えに照らして一つ一つ考えると、道理から外れたところが見えるからです。同時に、自分は正しい生き方をしていこうと、決意も深まるでしょう。

つまり、神の教えから、人としてどう生きるべきかがつかめるので、自身の考え方、生き方が修正できます。誰のことでも受け入れられる、器の大きな、調和の取れた人格に成長していけるのです。そのような常に自らを省みて、改めべきところを改め、高める努力をする人は、自然と周りに良い影響を与えます。

分、器に見合う、運命に重なる生き方ができて、多くの人々の役に立ち、徳が積めます。これが、得徳のかなう姿です。神の教えが身に付くと、人生が高くなると、神は表されました。人生が高まると、安定した心で暮らせるようになります。無心、無欲になり、心が神に近づきます。

神の教えが品性を磨き、人柄、人格に反映し、周りからは共にいるだけで安心できる存在になるでしょう。誰とも調和する人品があるからです。相手の運命と重なり、良い影響を与えていきます。

人は誰もが誕生の時に、周りを正道へ導く力を授かっています。それが、世に役立つ運命です。それを生かせば、徳が積めて、人生は輝いていくのです。

「得徳」を正道へ導く

神 示

「人生」を 喜び多く

生きがいあるものへと導く力は 「運命」

その「運命」を磨き その力を引き出すために

信者は「教え」に「生きる」心が必要

信者に問う

「得徳の真理」に悟りを深め

「教え」に生きる心はいかに

この思いが 信者の心を磨き 高めてゆく

「教え」が心に染み渡り 「正道」をゆく人と生る

日々 心明るく 強く 多くの人とのお会いを得て

社会を「正道」へと導く

開運人生を手にする人の姿が ここにある

社会は今 「真理」を求めている

信者は 「教え」に「真理」を学び

運命に重なる人生の あるべき心を社会に示す時

運命に重なる人は皆

知識と努力が生かされ

真実の生きがいを味わえる

得徳――

「真理」に生きて

「運命」の力を世に奉仕する人の心と言う

信者は 「教え」に気づきを得て

「真理」で社会を「正道」へと導く人を目指せよ

一人一人の人生が、喜び多く、生きがいのあるものとなるように、神は社会に役立つ運命の力を与えてくださっています。その力を引き出すには、神の教えに沿って生きる努力が必要です。

教えに触れていないと、社会にあふれる知識、情報にのまれ、自分本位の考え方が、生き方になりがちです。そして、器に合わないものを求めてしまいます。

持ち味を発揮していければ、必ず周りの役に立ち、多くの人々に良い影響を与えて、徳が積めます。そのような自分になれるように、教えを毎日に生かす努力をしているかと、神は問い掛けられました。そうした努力を重ねる信念が、人生を磨き、高めていくのです。

神の教えが身に付くと、日々穏やかな気持ちで暮らせます。心の動きが安定して、持つて生まれた力を存分に発揮できます。それが、人の生きる正道です。

そのような人は、常に心が明るく、強く、何があっても気持ちが大きく揺れません。ですから、周りを乱すような道から外れた心の動きもしないでしょう。

そして、縁のあった出会いを大切に、周りの人々の心も正道へと導いていきます。これは、大きな徳積みです。その結果、開運を手に行けるのです。

現代社会は、混迷しています。どうしても乗り越えられるのか、解決できるのかと迷いつつ、先の分からない人間には答えが見えません。だからこそ、社会は今、的確な答えを求めているのです。

解決の道は、神の教えにあります。真理、物事の道理に沿い、互いの持つ力を重ね、補い合い、生かし合うことです。

それを、まずは社会の最小単位である家庭で実践しなくてはなりません。そして、周りへと広げていくのです。運命に重なるって行動すれば、知識や努力も上手に活用し、必ず生きがい味わえます。

教えを生かして、自ら関わり、調和すること、得徳がかないます。各人が良い影響を与え、周りを正道へ導く存在になってほしいと、神は呼び掛けられています。